

お宅のガス管大丈夫？ 古いガス管（鉄管）の交換をお願いします

お客さまの敷地内のガス管は「**お客様の資産**」です。

土の中に埋められた鉄製のガス管は、一般的に経年により腐食が進行し、およそ **20年**が**取り替えの目安**といわれています。

鉄製のガス管の土中埋設は、平成8年以降、法的に禁止されましたが、**おおむね平成2年以前に埋設工事をした場合において、鉄製のガス管が使用されている可能性があります。**

古くなった水道管の交換や、下水道工事の際に、一緒に交換工事をすることをおすすめします。お近くのガス工事店若しくは企業課にお問い合わせください。



交換

場所に合わせ、
最適なガス管に
お取替えます。

腐食や地震に強いガス管です



ポリエチレン管



硬質塩化ビニール被覆鋼管



ポリエチレン被覆鋼管

ガスくさいときは、すぐガス事業者へご連絡を！

- 絶対に火気は使用しないでください。換気扇・電灯等のスイッチに絶対手を触れないでください。
- ガス管近くで工事されるときも、ガス事業者へ連絡ください。

メーター周りになまりの管はありませんか？鉛管の交換をお願いします

敷地内の水道管も「**お客様の資産**」です。**なまり**は柔らかく加工しやすいため、平成2年頃まで水道メーターの前後1m程度に使用されていました。

「**水質保全と漏水防止**」のため（鉛管部分で漏水が多く発生しています。）鉛管を撤去するにあたり、助成制度がございます。（※**庄内町限定の助成制度**です）

企業課もしくはお近くの町内指定給水装置工事事業者にお問い合わせください。

●庄内町鉛製給水管改修助成制度

- ・水道メーター1箇所につき、工事費のうち**上限2万円**。



企業課通信 39号

ロードヒーティング大活躍！の冬でした。



このたびの冬は積雪量が多かったので、敷地内の除雪で苦労された方も多かったのではないのでしょうか。

でも企業課庁舎前では、この「ロードヒーティング」のおかげで常に雪や氷がない状態を保つことができたので、駐車や通行の際も大変快適でした。もちろん**庄内町産ガス**を原料にしている**天然ガス**を**熱源**にしています。

本誌が皆様のお手元に届く頃には、だいぶ雪も減っているかもしれませんが、まさにロードヒーティング大活躍の冬だったと実感しています。

なお、ご利用の場合は、**お得な料金プラン「庄内町融雪契約」**をお使いできます。気が早いようですが、次の冬に向けてご自宅でもいかがでしょうか。

児童の皆さんありがとうございました。

余目第一小学校2年生5名の皆さんから、お礼の作文を頂きました。何かと忙しい時期ですが職員も心がほっこりして癒されました。どうもありがとうございます。

学校活動「**町探検**」として予定していた**町営ガス施設訪問**が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため急遽中止になってしまったため、残念ながら質問に対する回答提出だけになったのですが、わざわざ書いてくれました。

頂戴した作文は正面から入ってすぐ右側の掲示板に貼らせて頂いています。来庁される方も是非ご覧下さい。

いつか皆さんと会えるように楽しみにしていますので、是非またいらしてください。お待ちしております！



企業課庁舎分散業務スタート

新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、企業課庁舎では2階の会議室等を事務室として開設し、職員の半数が分散移動して勤務することになりました。職員の感染リスクを少しでも抑えられるように2月1日から実施させていただいております。来庁者の方にはご迷惑をおかけしておりますが、しばらくの間ご了承ください。



発行 庄内町企業課 庄内町余目字滑石1番地1 ☎0234-42-0185
令和3年3月15日
企業課ホームページ <http://www.town.shonai.lg.jp/kigyoka/index.html>

水道事業の広域化を考える ～生活に欠かせない水を届けるために～

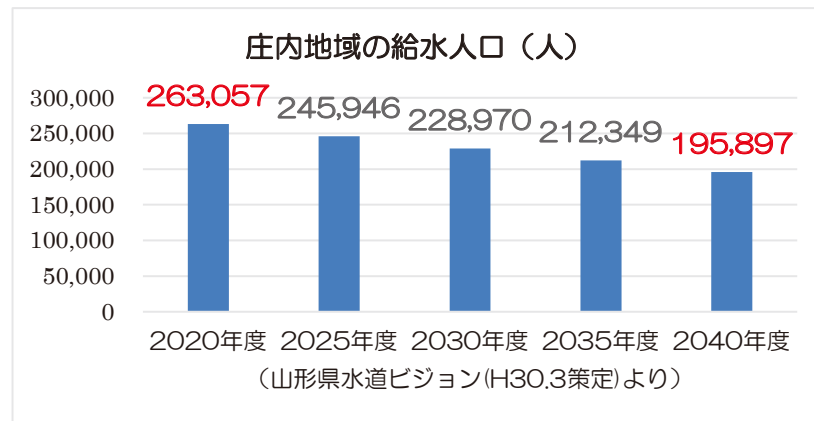
全国の水道事業は、急速な人口減少や管路等の老朽化によって厳しい経営環境となっています。しかし、私たちの暮らしに欠かせない「水道」を守るためには、これからも持続的な経営を確保する必要があります。このため、庄内町では酒田市・鶴岡市・県と一緒に「水道事業の広域化」の検討を進めています。



現状と課題

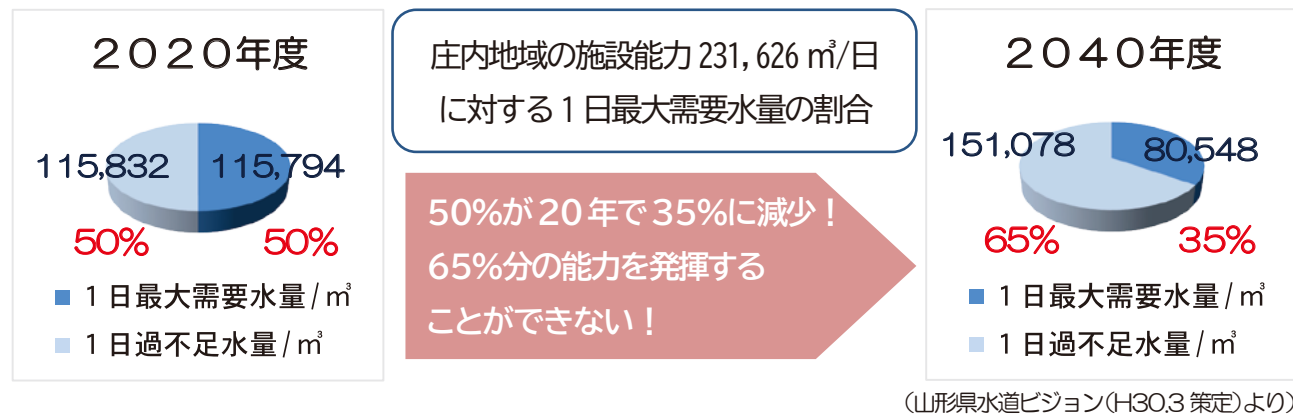
■給水人口の減少

庄内地域の給水人口は、人口減少の影響から、2040年までの今後20年間で△25.5%も減少する見通しとなっています。このことは水道料金としていただく給水収益の減収につながり、水道事業を経営するにあたって非常に大きな不安要素です。



■施設利用率の低下

庄内地域における一日の最大需要水量は、給水人口の減少により今後20年間で△30.4%減少する見通しです。そうすると浄水場などの施設では稼働率や効率性が悪化するおそれがあります。



■旧簡易水道事業の経営

庄内町では、旧簡易水道地区へ安心安全な水道水を安定して供給するために、平成29年度立谷沢川流域の9つの簡易水道を水道に統合したことから、必要な設備投資や管理運営を行っていく必要があります。

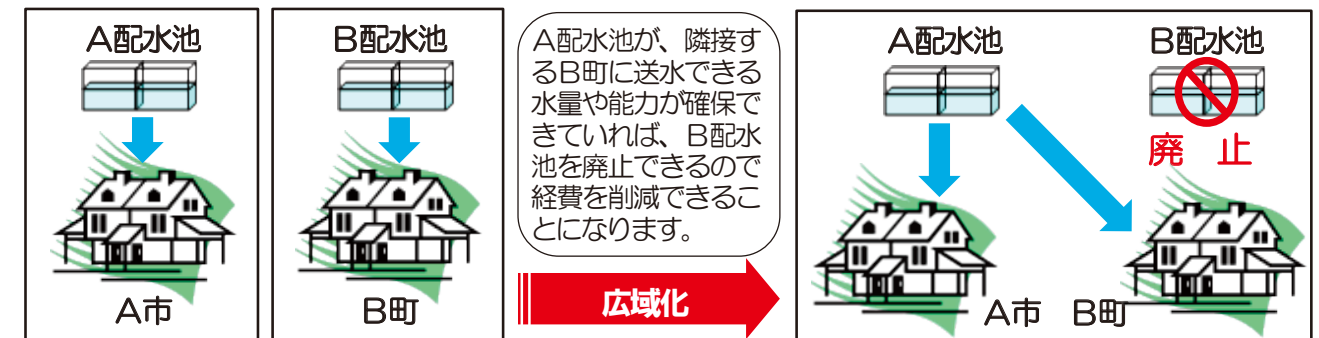
- 統合により投資してきた事業費約4億8千万円
（上記の財源：補助金約5千3百万円、起債約4億円など）
- 毎年の減価償却費 約3千万円



課題への対応策

給水人口と需要水量の減少に伴い、現在の施設能力に余裕が生じることになります。そうした施設は規模を縮小あるいは削減するなど「ダウンサイジング」したうえで隣接する自治体が広域的に活用していくことが有効です。

（例）



広域化のイメージ

庄内の2市1町は県企業局から水道水を買って各家庭に送っていますので、この2市1町の水道事業と県企業局の用水供給事業が統合して一体的に運営することが、効果的であると考えています。



広域化による効果

平成30年度に内閣府補助を受けて実施した、今後37年間の経営シミュレーションによると、広域化することで大きな効果を生み出すことがわかりました。

削減効果は 最大 330.5億円

- 稼働率が低い浄水場等の統廃合や維持管理費用の削減
- 重複事業の統合による管理運営費用の削減
- ダムの水源から各家庭の蛇口まで一体的な管理体制で効率性が高まります。

「水道料金の見直し時期の延伸や
値上げ幅の抑制」につながります

庄内町では、町民の皆様の生活に欠かせない水道事業の経営が持続できるように、今後も広域化の検討を続けてまいります。